

福井県の推計人口

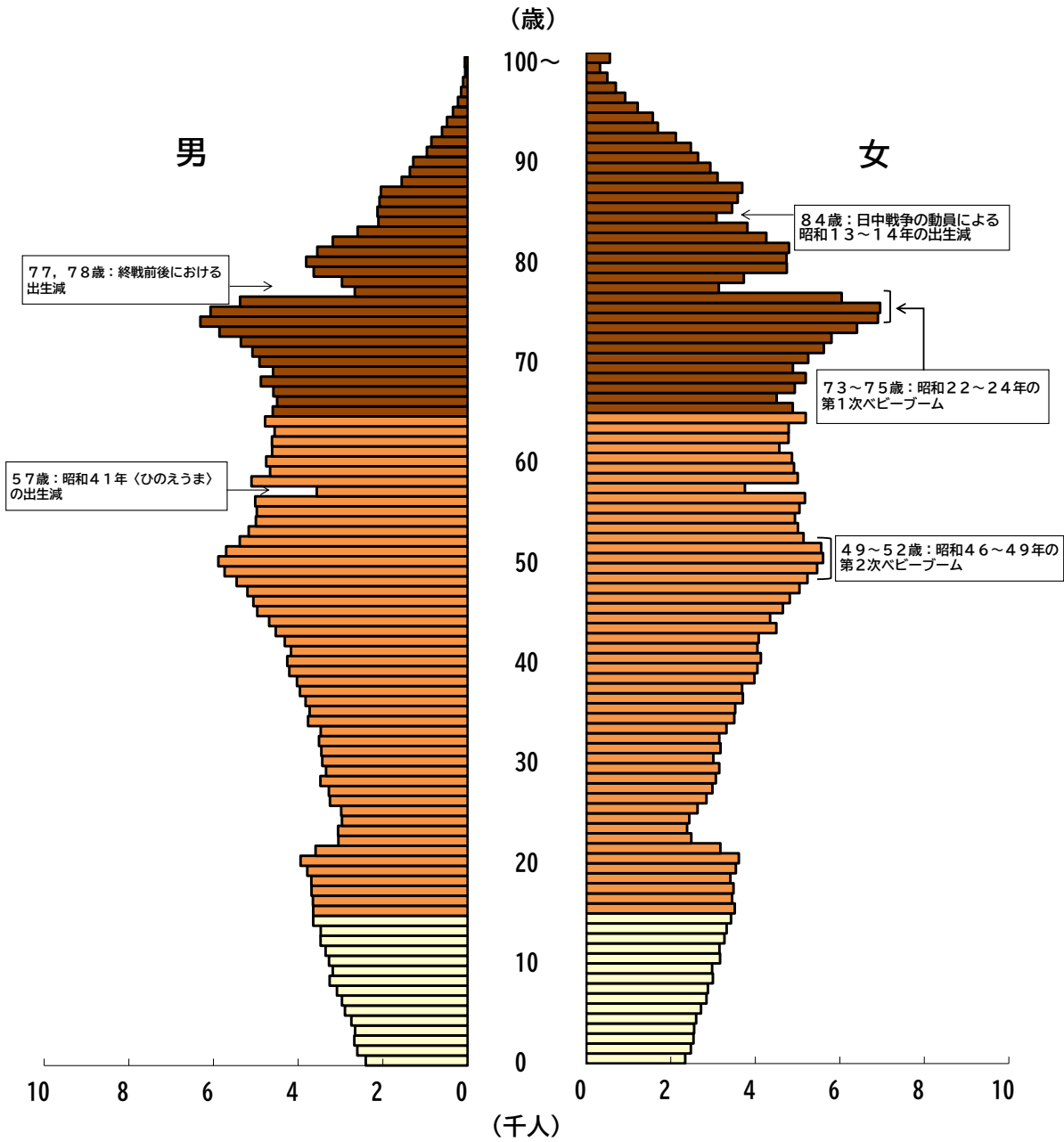
令和5年10月1日現在

(令和4年10月から令和5年9月までの動向)

令和6年2月

福 井 県

参考 福井県の人口ピラミッド（令和5年10月1日現在）



利用上の注意

人口および世帯数は、各年10月1日現在の数字であり、国勢調査実施年についてはその結果を、それ以外の年については、国勢調査の結果にその後1年間の自然増減数（出生数－死亡数）および社会増減数（転入者数－転出者数）を加えたものを掲載しています。

目 次

概 要

1	福井県総人口	1
	(1) 自然動態(出生・死亡)	1
	(2) 社会動態(転入・転出)	1
2	年齢・男女別人口	7
	(1) 年齢(5歳階級)別人口	7
	(2) 年齢(3区分)別人口	8
3	世帯数	9
4	市町人口	10
	(1) 人口増減	10
	(2) 自然動態	11
	(3) 社会動態	12
	(4) 人口密度	12
	(5) 年齢(3区分)別人口	13
	(6) 世帯数	14
	利用者のために	15

統 計 表

表 1	市町別人口および世帯数
表 2	人口の推移
表 3	自然動態の推移
表 4	社会動態の推移
表 5	市町別自然動態・社会動態数
表 6	市町別人口の年別推移
表 7	市町別出生数の年別推移
表 8	市町別死亡数の年別推移
表 9	市町別県内転入者数の年別推移
表 10	市町別県内転出者数の年別推移
表 11	市町別県外転入者数の年別推移
表 12	市町別県外転出者数の年別推移
表 13	市町別世帯数の年別推移
表 14	市町別県内移動者数
表 15	市町別・従前の住所地(都道府県)別県外転入者数
表 16	市町別・転出先の住所地(都道府県)別県外転出者数
表 17	年齢別・従前の住所地(都道府県)別県外転入者数
表 18	年齢別・転出先の住所地(都道府県)別県外転出者数
表 19	市町別各種指標
表 20	市町別・年齢(3区分)別人口
表 21	市町別・年齢(5歳階級)別人口
表 22	市町別・年齢別・男女別人口

概要

1 福井県総人口 744,568 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、令和 5 年 10 月 1 日現在 744,568 人となり、令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 9 月 30 日までの 1 年間に 8,408 人減少した。

全国総人口は 12,434 万人（総務省「人口推計」令和 5 年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.60% である。また、本県の面積は 4,190.54 km²（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和 5 年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 km² 当たり 177.7 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、令和 5 年は前年と比べ△1.12%と、24 年連続の減少となっている。

(1) 自然動態（出生・死亡）

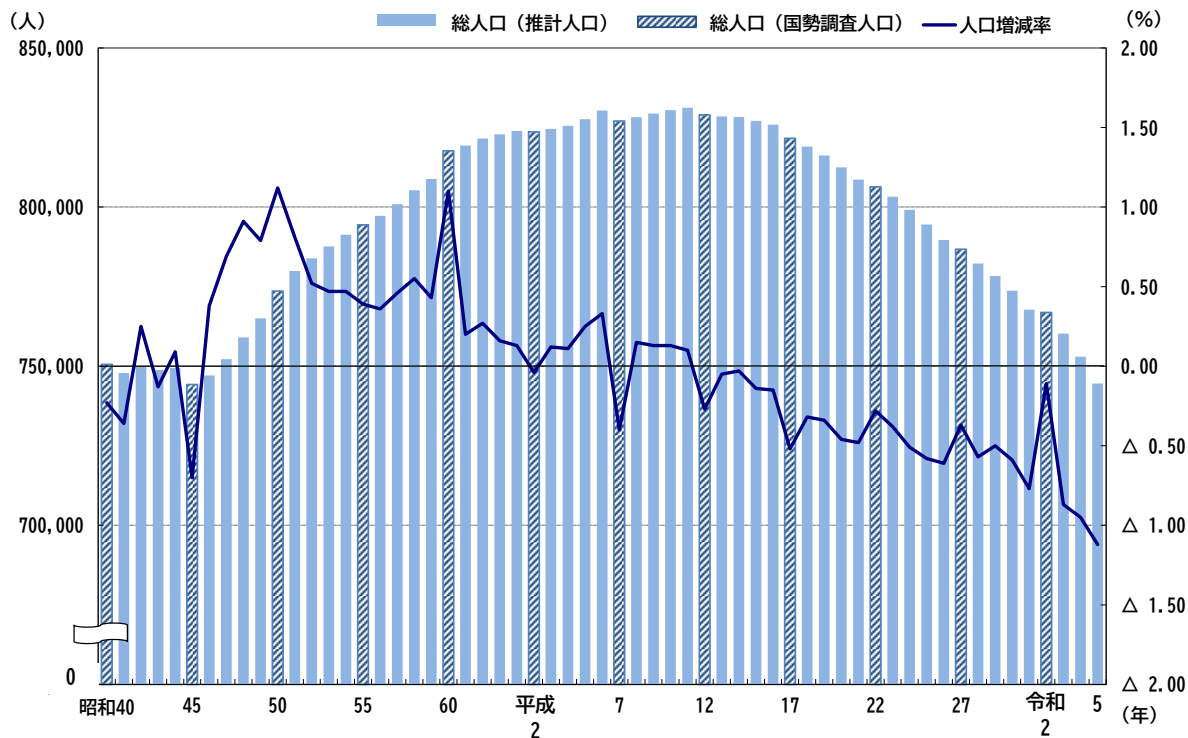
出生数は 4,738 人となり、前年と比べ 338 人の減少となった。第 2 次ベビーブーム期の昭和 48 年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は 10,684 人で、前年に比べ 449 人の増加となった。この結果、自然増減数は 5,946 人の減少となり、平成 16 年以降 20 年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和 25 年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成 13 年以降社会減少が続いている。令和 5 年の県外転入者は 13,589 人、県外転出者は 16,051 人となっており、この結果 2,462 人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは石川県の 1,135 人であり、次いで大阪府 931 人、愛知県 911 人となっている。また、県外転出で最も多いのは大阪府の 1,523 人であり、次いで東京都 1,521 人、愛知県 1,478 人となっている。

図1 総人口・人口増減率の推移（昭和 40 年～令和 5 年）



(注) 国勢調査年については国勢調査人口におきかえており、国勢調査人口が推計人口と乖離がある場合、人口増減率の変動が大きくなる。

表1 人口の推移（平成元年～令和5年）

（単位：人、％）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	***
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,971
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436
2※	766,863	△ 879	△ 0.11	△ 3,866	△ 1,197	14,845
3	760,209	△ 6,654	△ 0.87	△ 4,504	△ 2,150	13,796
4	752,976	△ 7,233	△ 0.95	△ 5,159	△ 2,074	14,223
5	744,568	△ 8,408	△ 1.12	△ 5,946	△ 2,462	14,267

【※は国勢調査結果】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和5年）

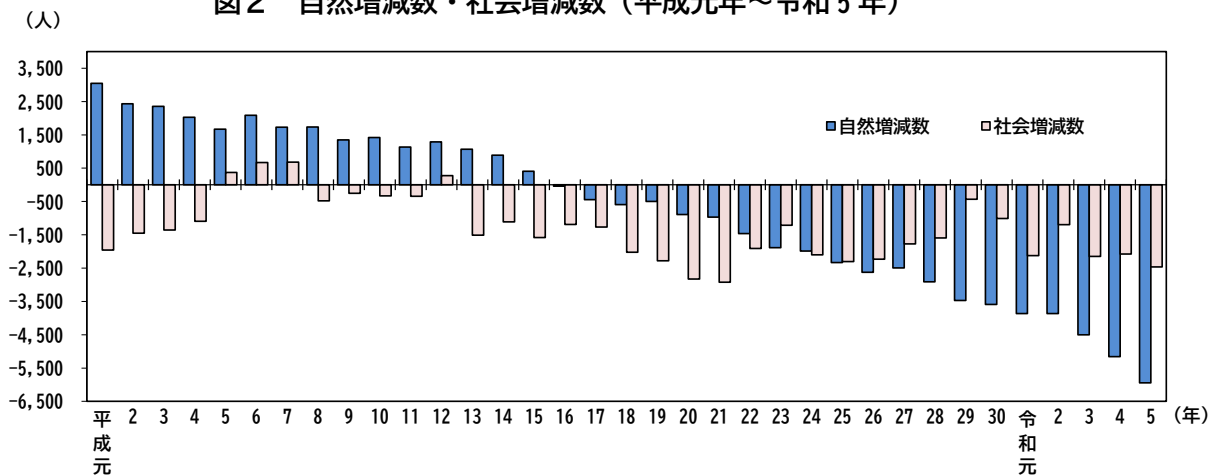
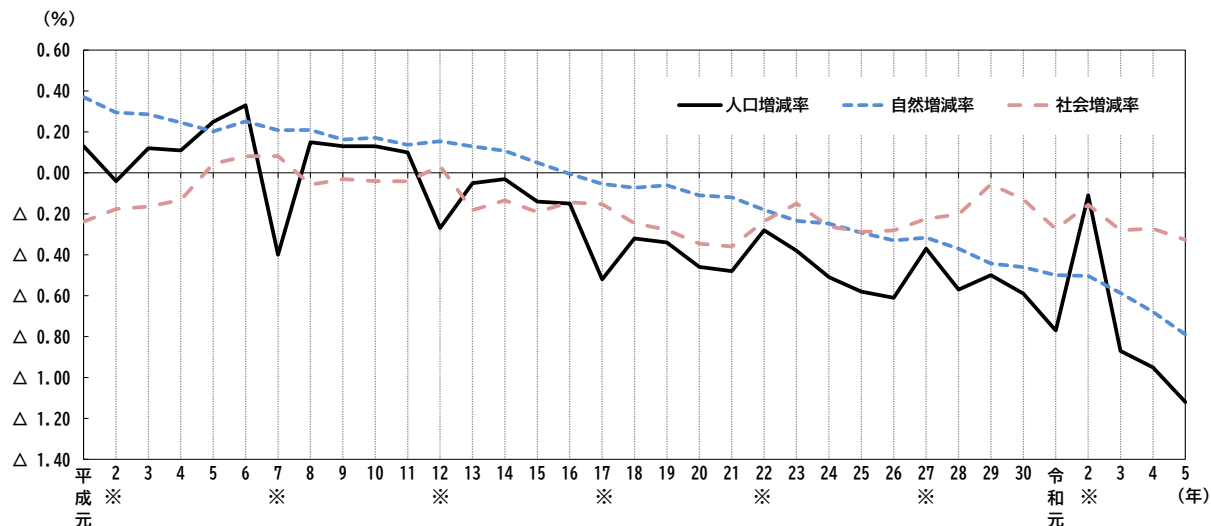


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和5年）



(注) 国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。
【※は国勢調査結果】

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和5年）

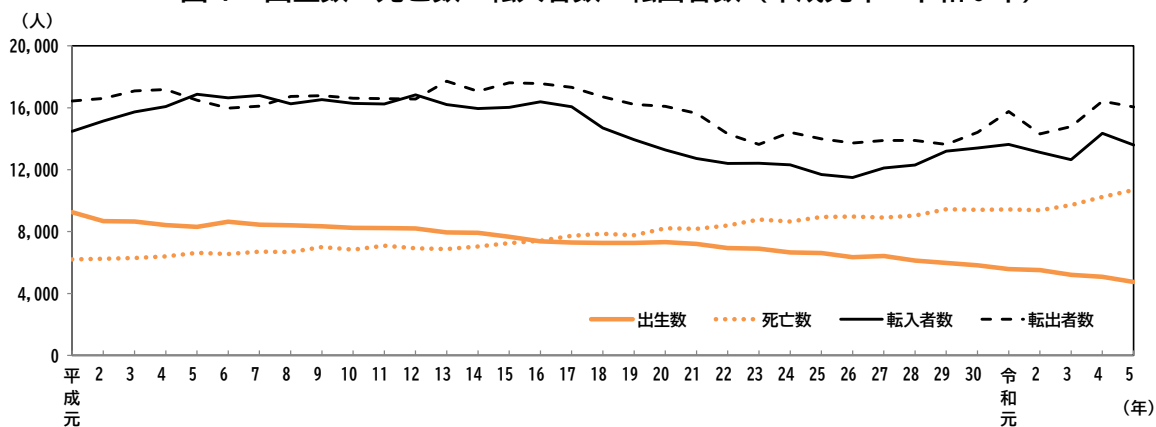


図5 総人口の推移（令和4年10月～令和5年10月）

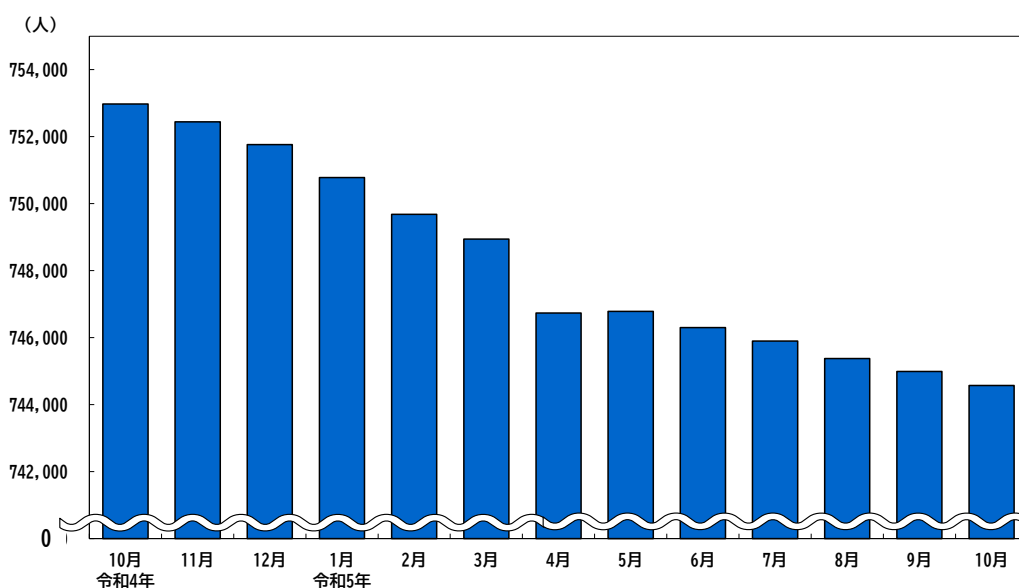


図6 自然増減数・社会増減数（令和4年10月～令和5年9月）

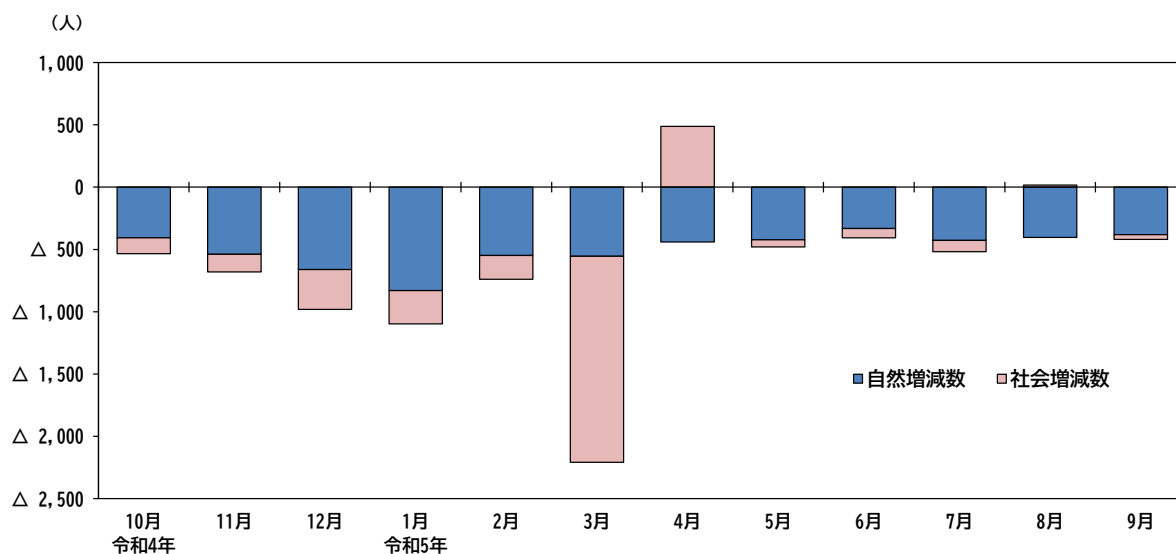


表2 月別人口・移動者数（令和4年10月～令和5年10月）

(単位：人)

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和4年 10月	752,976	△ 534	△ 407	465	872	△ 127	1,005	1,132
11月	752,442	△ 681	△ 539	414	953	△ 142	903	1,045
12月	751,761	△ 981	△ 661	356	1,017	△ 320	771	1,091
令和5年 1月	750,780	△ 1,098	△ 830	378	1,208	△ 268	714	982
2月	749,682	△ 740	△ 549	359	908	△ 191	910	1,101
3月	748,942	△ 2,209	△ 554	390	944	△ 1,655	2,363	4,018
4月	746,733	48	△ 440	359	799	488	1,899	1,411
5月	746,781	△ 480	△ 422	399	821	△ 58	1,088	1,146
6月	746,301	△ 407	△ 332	397	729	△ 75	963	1,038
7月	745,894	△ 518	△ 427	379	806	△ 91	937	1,028
8月	745,376	△ 388	△ 404	427	831	16	1,022	1,006
9月	744,988	△ 420	△ 381	415	796	△ 39	1,014	1,053
10月	744,568	-	-	-	-	-	-	-
総 数		△ 8,408	△ 5,946	4,738	10,684	△ 2,462	13,589	16,051

(注) 「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（令和4年10月～令和5年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	4,738	2,398	2,340	10	3	7	582	296	286	586	295	291
5～9	—	—	—	2	0	2	290	153	137	295	153	142
10～14	—	—	—	3	3	0	164	85	79	168	82	86
15～19	—	—	—	4	2	2	792	406	386	865	462	403
20～24	—	—	—	15	12	3	3,311	1,882	1,429	4,102	2,113	1,989
25～29	—	—	—	17	11	6	2,791	1,571	1,220	3,308	1,885	1,423
30～34	—	—	—	15	10	5	1,790	1,041	749	2,132	1,231	901
35～39	—	—	—	21	18	3	1,105	601	504	1,326	741	585
40～44	—	—	—	34	23	11	686	398	288	859	520	339
45～49	—	—	—	61	36	25	596	387	209	715	439	276
50～54	—	—	—	97	63	34	497	335	162	614	372	242
55～59	—	—	—	144	95	49	339	230	109	368	243	125
60～64	—	—	—	242	173	69	221	138	83	222	147	75
65～69	—	—	—	364	253	111	119	71	48	123	81	42
70～74	—	—	—	801	561	240	105	60	45	108	66	42
75～79	—	—	—	998	665	333	70	28	42	72	31	41
80～84	—	—	—	1,507	903	604	57	21	36	71	18	53
85～89	—	—	—	2,263	1,110	1,153	47	16	31	66	18	48
90以上	—	—	—	4,086	1,312	2,774	27	5	22	51	16	35
総数	4,738	2,398	2,340	10,684	5,253	5,431	13,589	7,724	5,865	16,051	8,913	7,138

図7-1 5歳階級別県外転入者数

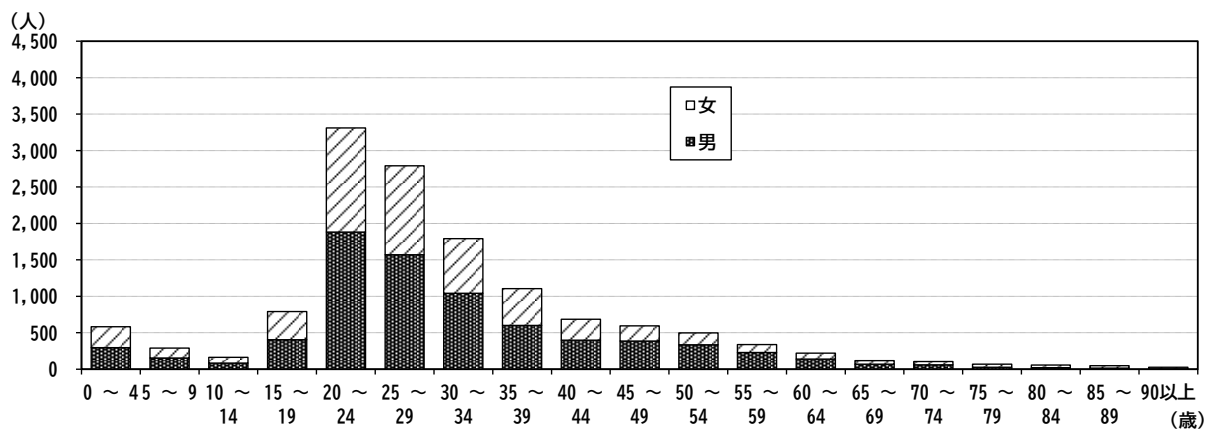


図7-2 5歳階級別県外転出者数

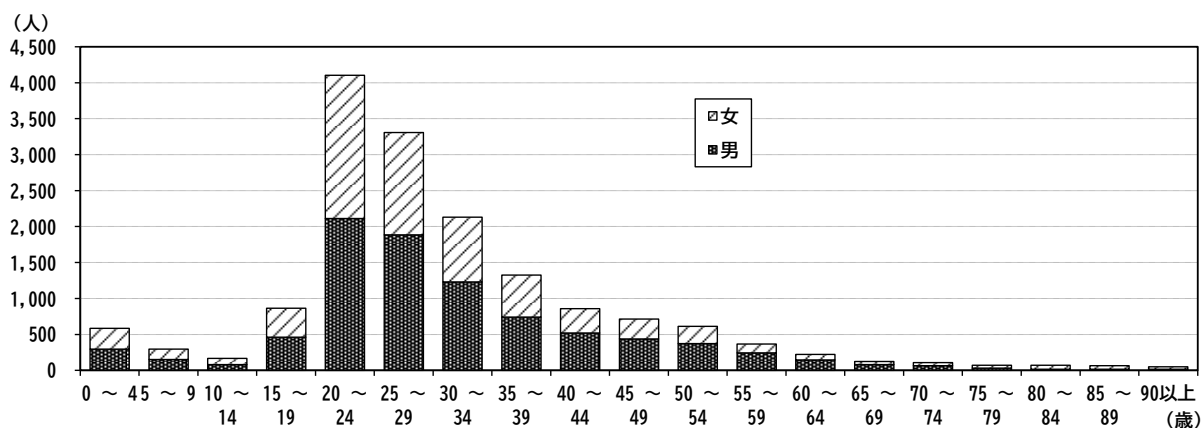
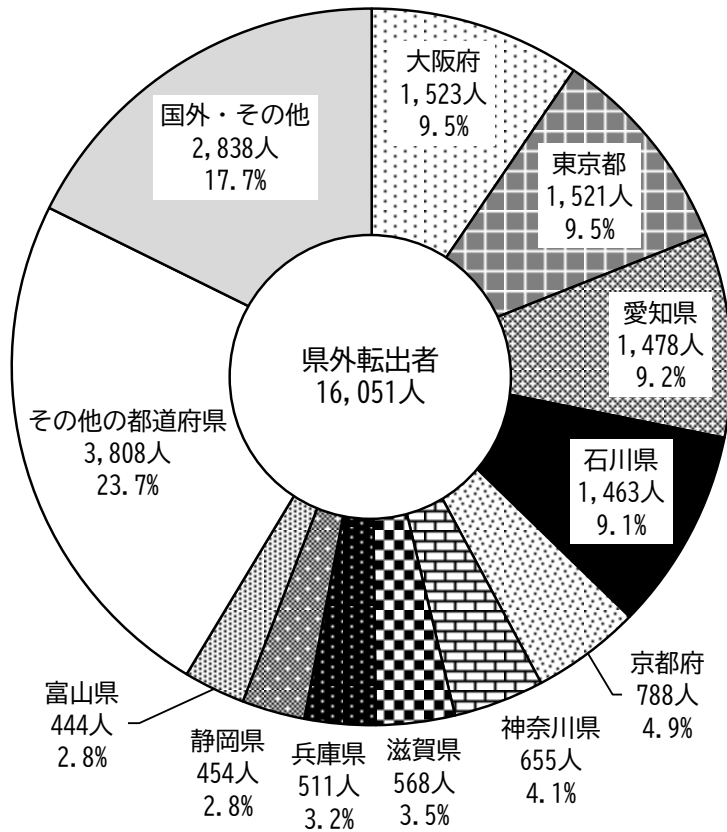
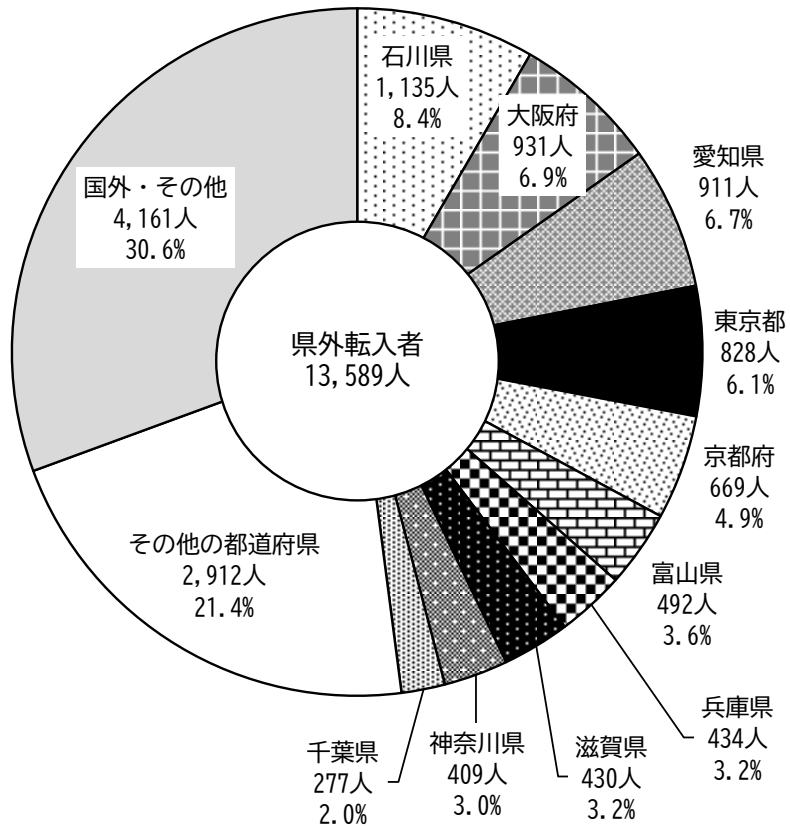


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、70～74歳が57,504人と最も多く、次いで50～54歳53,381人、45～49歳51,627人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現72～74歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現47～50歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は69～74歳と45～51歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が363,888人、女性が380,680人であり、女性が男性より16,792人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は95.6となっている。

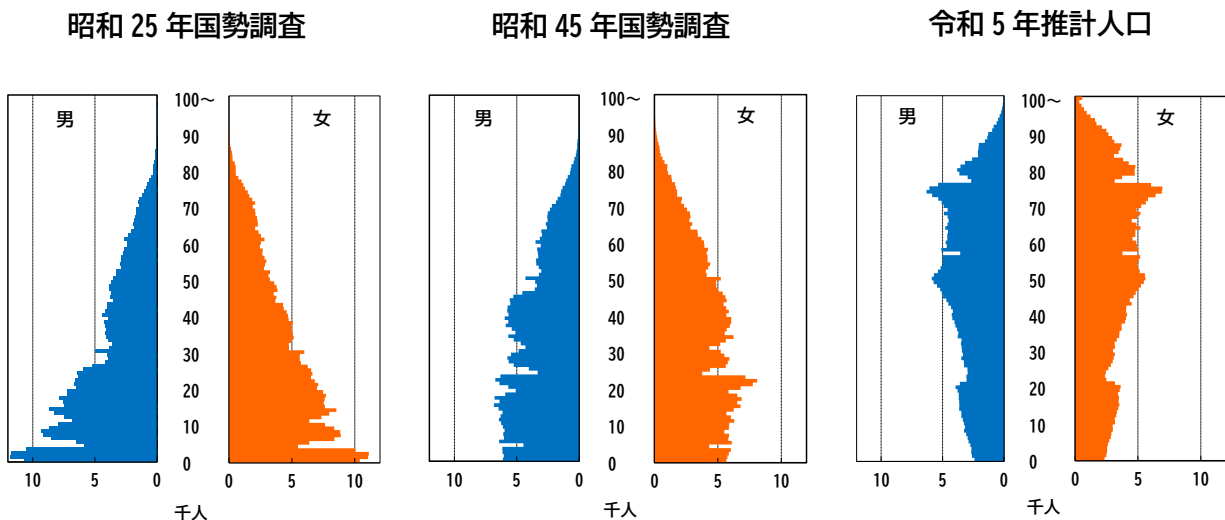
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位：人、%)

年齢	男女計	男	女	性比
0～4	25,592	13,085	12,507	104.6
5～9	29,799	15,388	14,411	106.8
10～14	33,549	17,212	16,337	105.4
15～19	35,854	18,455	17,399	106.1
20～24	30,699	16,608	14,091	117.9
25～29	31,003	16,324	14,679	111.2
30～34	33,772	17,622	16,150	109.1
35～39	38,698	19,750	18,948	104.2
40～44	43,070	21,965	21,105	104.1
45～49	51,627	26,411	25,216	104.7
50～54	53,381	27,131	26,250	103.4
55～59	47,211	23,318	23,893	97.6
60～64	47,530	23,327	24,203	96.4
65～69	47,566	23,160	24,406	94.9
70～74	57,504	27,519	29,985	91.8
75～79	45,310	20,704	24,606	84.1
80～84	35,938	15,246	20,692	73.7
85～89	25,944	9,173	16,771	54.7
90～	19,870	5,140	14,730	34.9
合計	744,568	363,888	380,680	95.6

(注)年齢不詳 男女計10,651人、男6,350人、女4,301人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）

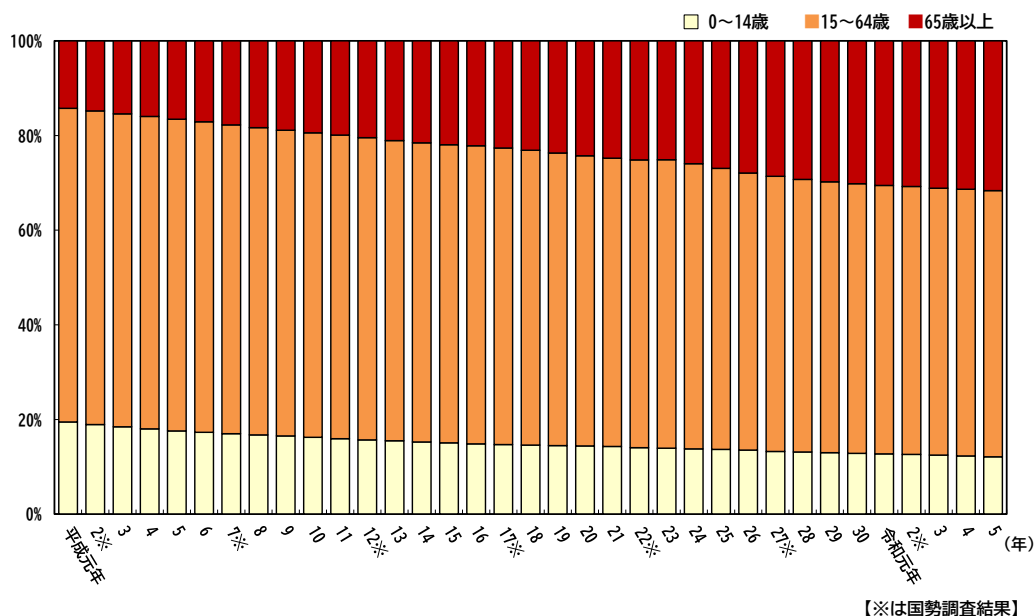


(2) 年齢(3区分) 別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和5年の年少人口(0~14歳)は88,940人(12.1%)で、前年に比べて0.2ポイント減少、生産年齢人口(15~64歳)は412,845人(56.3%)であり、前年と変わらない。老年人口(65歳以上)は232,132人(31.6%)であり、前年と比べて0.3ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数(年少人口に対する老年人口の比率)は261.0となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢(3区分) 別人口の推移(平成元年~令和5年)



【※は国勢調査結果】

表5 年齢(3区分) 別人口の推移(平成元年~令和5年)

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1
2※	95,544	427,984	232,684	12.6	56.6	30.8	243.5
3	93,533	422,742	233,283	12.5	56.4	31.1	249.4
4	91,386	418,233	232,706	12.3	56.3	31.3	254.6
5	88,940	412,845	232,132	12.1	56.3	31.6	261.0

(注1)平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

【※は国勢調査結果】

(注2)平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

3 世帯数 295,510 帯（令和5年10月1日現在）

福井県の総世帯数は 295,510 世帯であり、前年と比べ 868 世帯（0.29%）増加した。また、1世帯当たり人員は 2.52 人であり、前年と比べ 0.04 人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図 11 世帯数の推移（平成元年～令和5年）

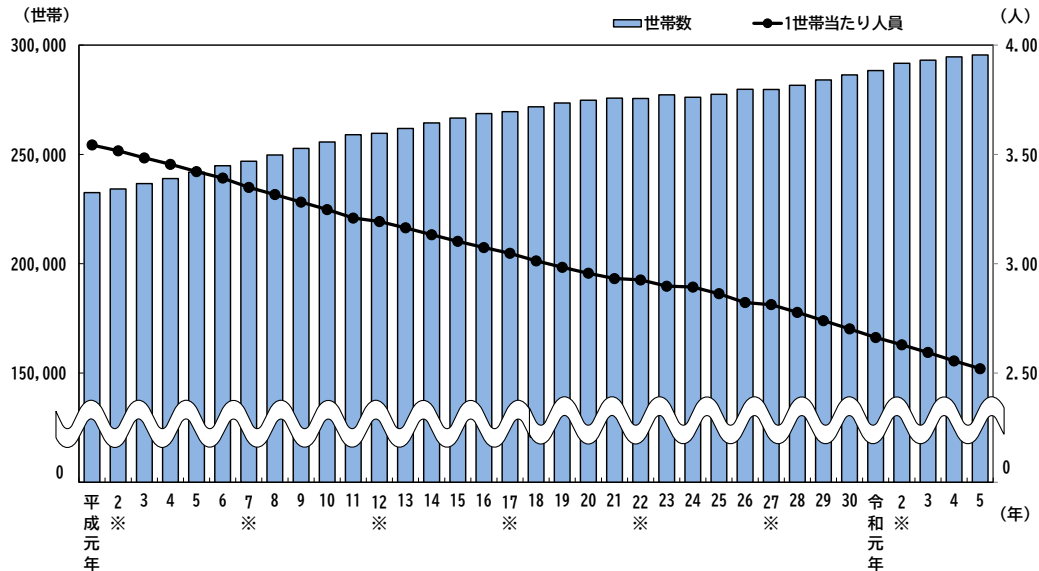


表 6 世帯数の推移（平成元年～令和5年）

（単位：世帯、人、%）

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66
2※	291,662	3,306	1.15	2.63
3	293,092	1,430	0.49	2.59
4	294,642	1,550	0.53	2.56
5	295,510	868	0.29	2.52

【※は国勢調査結果】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 256,706 人であり、県全体の 34.5%を占める。次いで坂井市 86,608 人、越前市 78,026 人となっている。

(1) 人口増減

県内のすべての市町において、昨年比べ人口が減少した。

人口増減率は、坂井市が $\Delta 0.60\%$ と最も高く、次いで永平寺町 $\Delta 0.71\%$ 、福井市 $\Delta 0.78\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 3.85\%$ であり、次いで南越前町 $\Delta 2.85\%$ 、おおい町 $\Delta 2.14\%$ となっている。

広域圏単位でみると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の $\Delta 1.80\%$ であり、次いで丹南 $\Delta 1.50\%$ となっている。

表7 地区・市町別人口および増減率

	人口	増減数	増減率
県計	744,568	$\Delta 8,408$	$\Delta 1.12$
福井地区	275,275	$\Delta 2,159$	$\Delta 0.78$
福井市	256,706	$\Delta 2,027$	$\Delta 0.78$
永平寺町	18,569	$\Delta 132$	$\Delta 0.71$
坂井地区	113,058	$\Delta 798$	$\Delta 0.70$
あわら市	26,450	$\Delta 276$	$\Delta 1.03$
坂井市	86,608	$\Delta 522$	$\Delta 0.60$
奥越地区	50,486	$\Delta 925$	$\Delta 1.80$
大野市	29,453	$\Delta 544$	$\Delta 1.81$
勝山市	21,033	$\Delta 381$	$\Delta 1.78$
丹南地区	176,220	$\Delta 2,675$	$\Delta 1.50$
鯖江市	67,445	$\Delta 601$	$\Delta 0.88$
越前市	78,026	$\Delta 1,445$	$\Delta 1.82$
池田町	2,195	$\Delta 88$	$\Delta 3.85$
南越前町	9,317	$\Delta 273$	$\Delta 2.85$
越前町	19,237	$\Delta 268$	$\Delta 1.37$
嶺南地区	129,529	$\Delta 1,851$	$\Delta 1.41$
敦賀市	62,252	$\Delta 757$	$\Delta 1.20$
小浜市	28,030	$\Delta 348$	$\Delta 1.23$
美浜町	8,708	$\Delta 187$	$\Delta 2.10$
高浜町	9,818	$\Delta 149$	$\Delta 1.49$
おおい町	7,533	$\Delta 165$	$\Delta 2.14$
若狭町	13,188	$\Delta 245$	$\Delta 1.82$

図12 市町別人口増減率（その1）

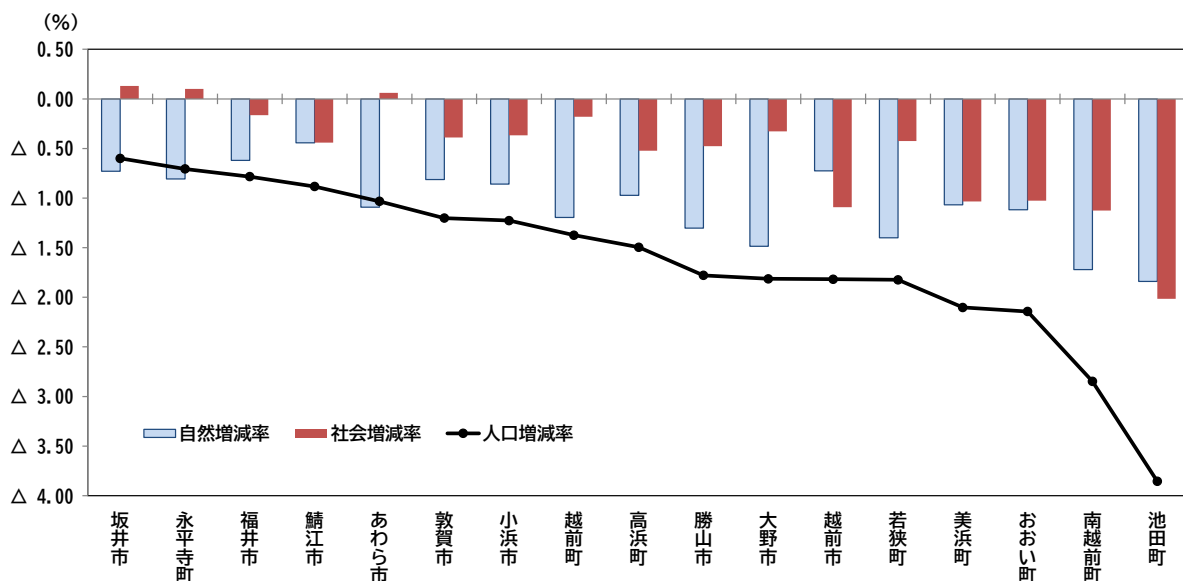
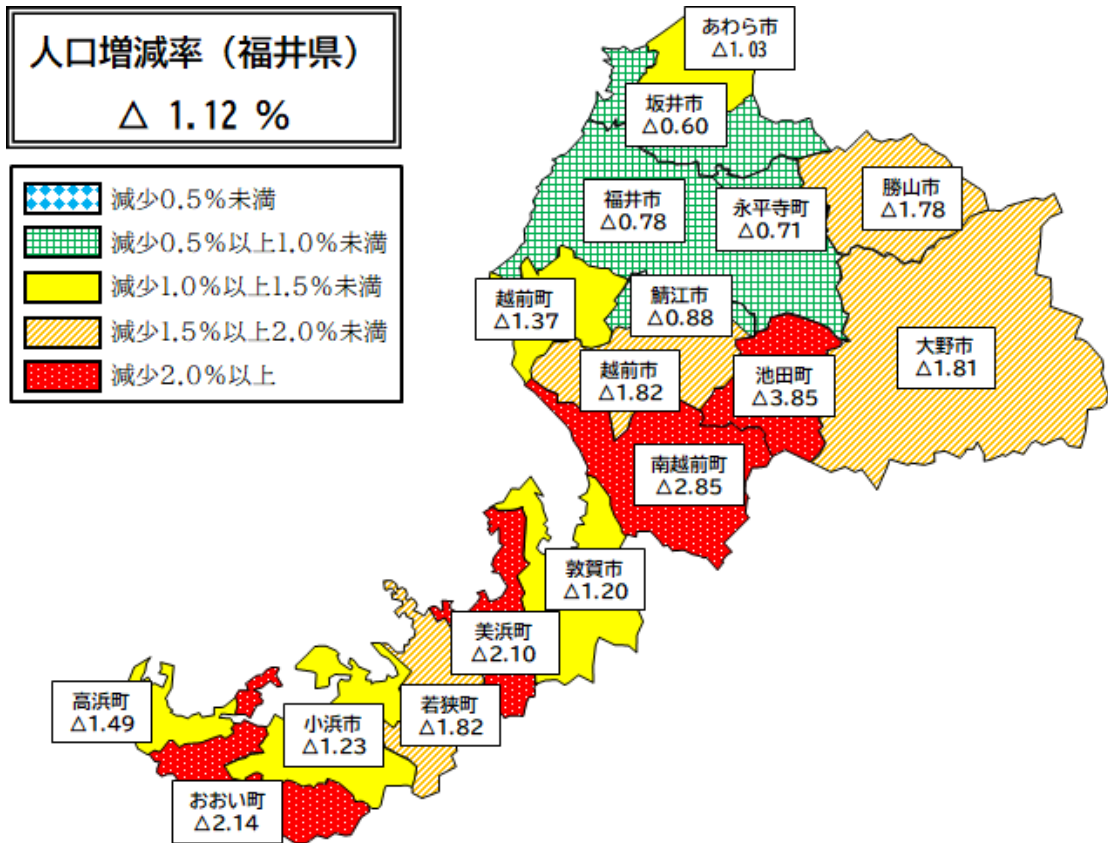


図13 市町別人口増減率（その2）



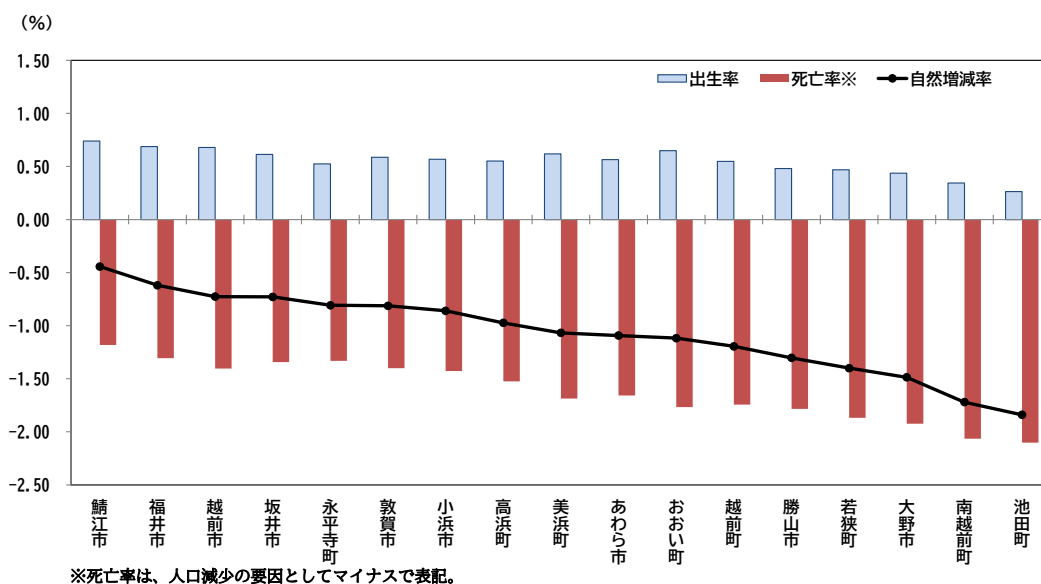
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.44\%$ であり、次いで福井市 $\Delta 0.62\%$ 、越前市 $\Delta 0.73\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 1.84\%$ であり、次いで南越前町 $\Delta 1.72\%$ 、大野市 $\Delta 1.49\%$ となっている。

出生率は、鯖江市が 0.74% と最も高く、次いで福井市が 0.69% 、越前市が 0.68% となっている。最も低いのは池田町の 0.26% であり、次いで南越前町 0.34% 、大野市 0.44% となっている。

死亡率は、池田町が 2.10% と最も高く、次いで南越前町 2.06% 、大野市 1.92% となっている。最も低いのは鯖江市の 1.18% であり、次いで福井市 1.31% 、永平寺町 1.33% となっている。

図14 市町別自然増減率



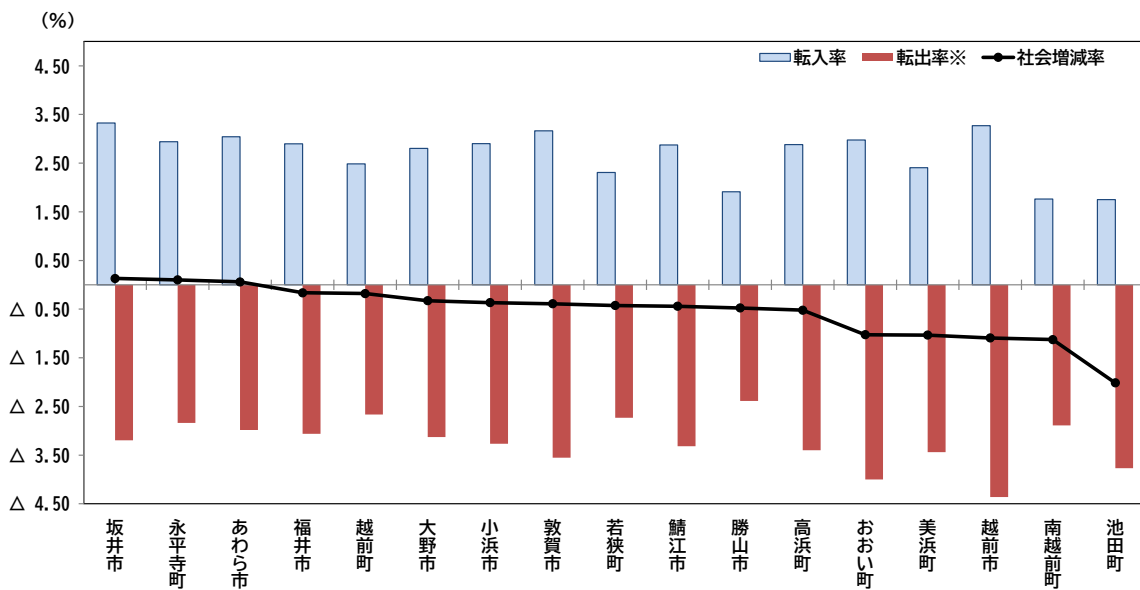
(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは3市町であり、最も高いのは坂井市が0.13%、次いで永平寺町が0.10%、あわら市が0.06%となった。他の14市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは池田町の△2.01%であり、次いで南越前町△1.13%、越前市△1.09%となった。

転入率は、坂井市が3.33%と最も高く、次いで越前市が3.27%、敦賀市3.16%となっている。最も低いのは池田町の1.75%であり、次いで南越前町1.76%、勝山市1.91%となっている。

転出率は、越前市が4.36%と最も高く、次いでおおい町4.00%、池田町3.77%となっている。最も低いのは、勝山市の2.39%であり、次いで越前町2.67%、若狭町2.73%となっている。

図15 市町別社会増減率

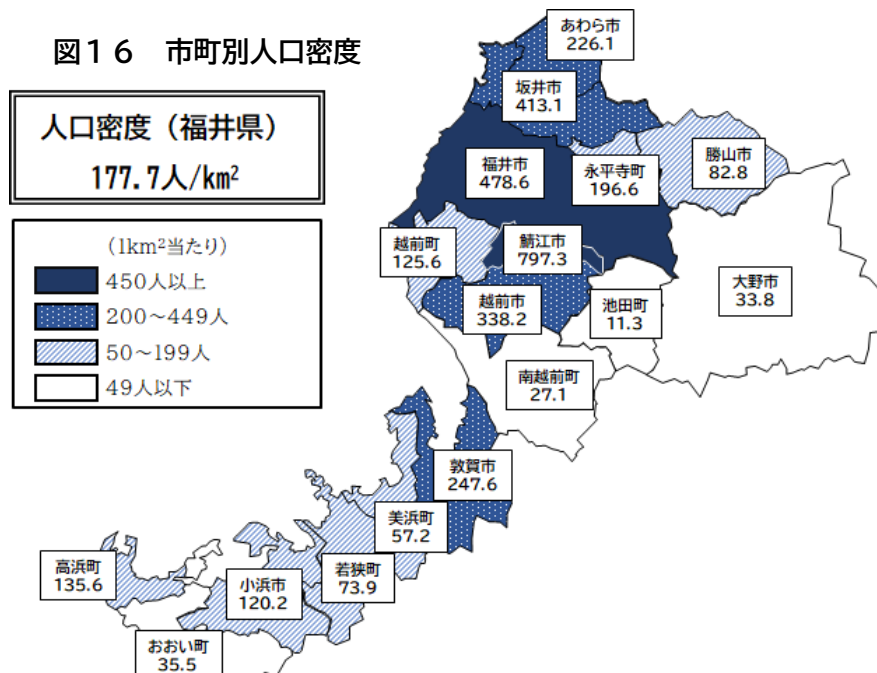


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記。

(4) 人口密度

面積1km²当たりの人口密度は、鯖江市が797.3人で最も高く、次いで福井市478.6人、坂井市413.1人となっている。最も低いのは池田町の11.3人であり、次いで南越前町27.1人、大野市33.8人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の13.5%であり、次いでおおい町13.4%、坂井市12.5%となっている。最も低いのは池田町の7.6%であり、次いで大野市が10.2%、勝山市および美浜町が10.5%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは鯖江市の58.3%であり、次いで永平寺町が58.2%、福井市57.6%となっている。最も低いのは池田町の46.0%であり、次いで南越前町49.3%、勝山市50.2%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の46.5%であり、次いで南越前町が39.7%、勝山市が39.3%となっている。最も低いのは鯖江市の28.2%であり、次いで坂井市30.0%、福井市30.1%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の614.5であり、次いで大野市383.2、勝山市372.1となっている。最も低いのは鯖江市の207.9であり、次いで坂井市238.8、福井市245.9となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

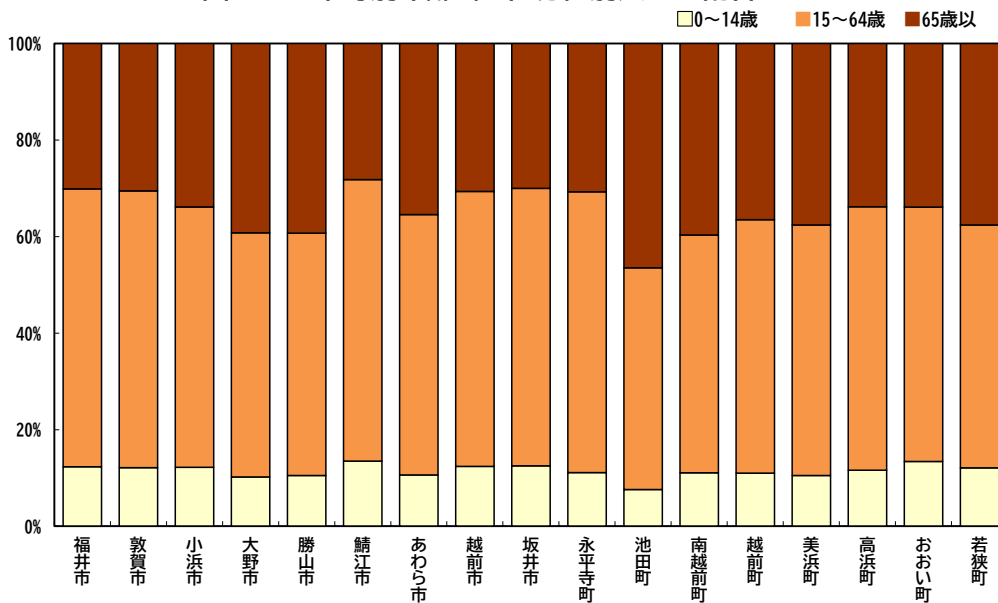
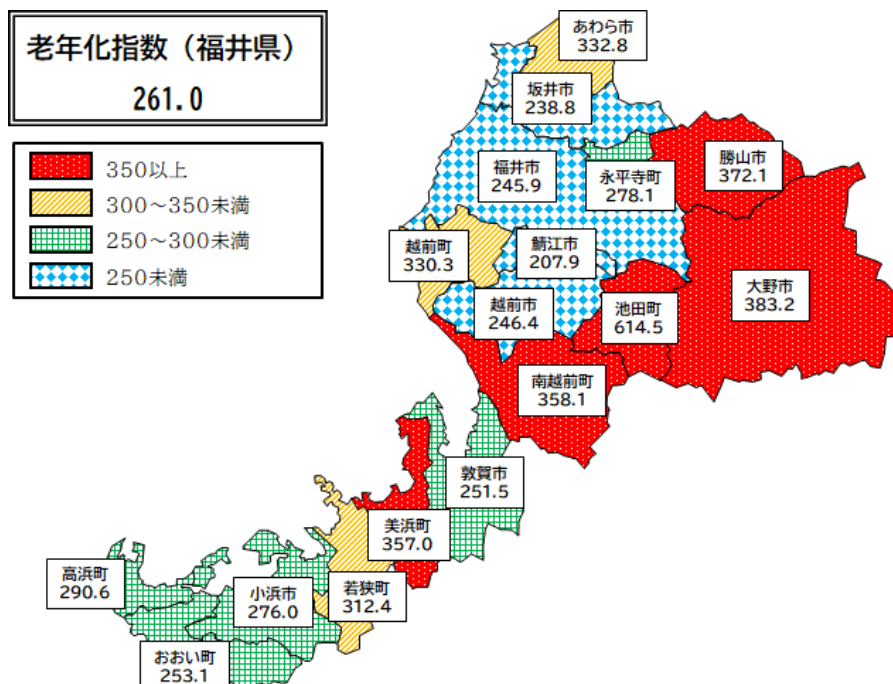


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の106,698世帯であり、県全体の36.1%を占めている。次いで坂井市31,978世帯、越前市29,662世帯となっている。

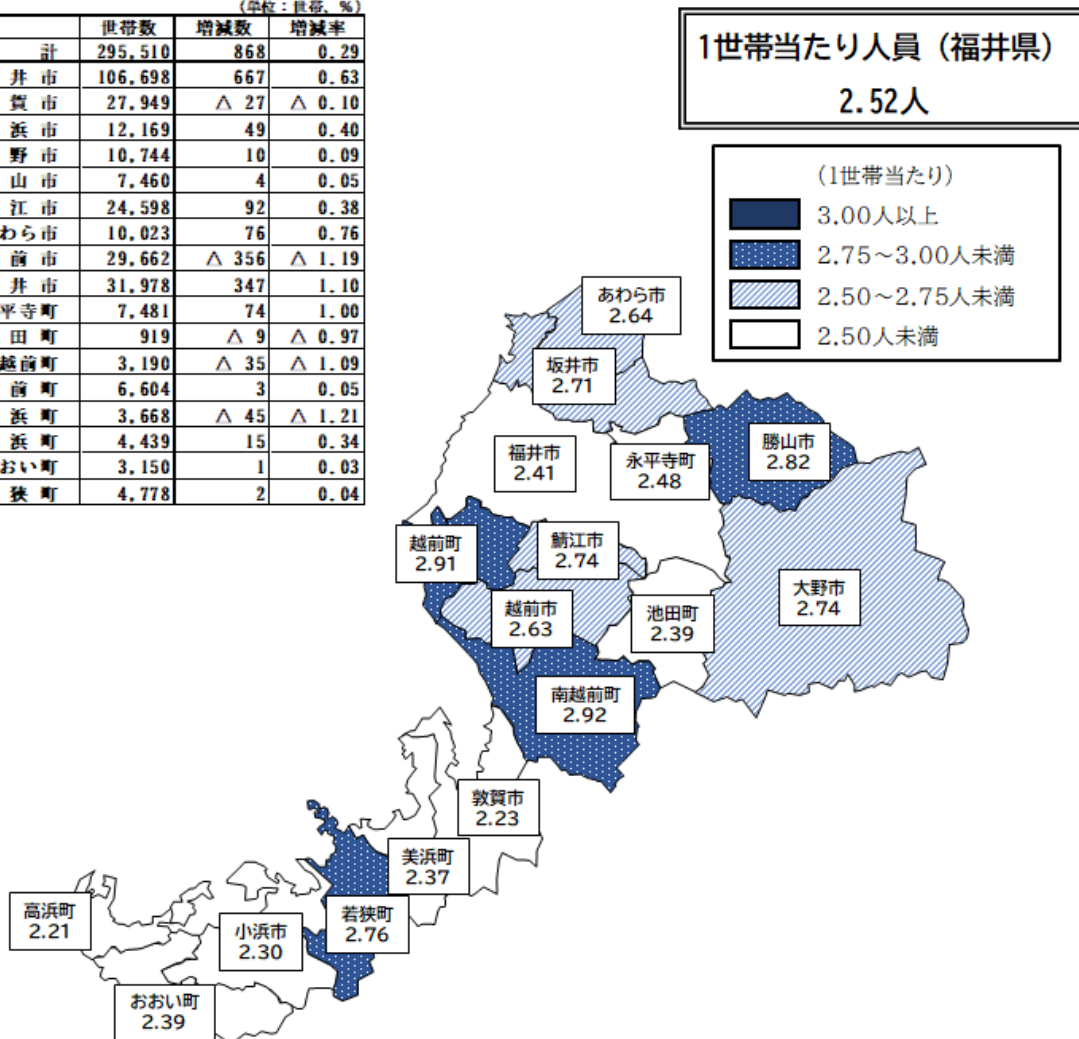
増減率は、坂井市が1.10%と最も高く、次いで永平寺町1.00%、あわら市0.76%となっている。最も低いのは、美浜町の△1.21%であり、次いで越前市が△1.19%、南越前町が△1.09%となっている。

1世帯当たり人員が最も多いのは、南越前町の2.92人であり、次いで越前町2.91人、勝山市2.82人となっている。最も少ないのは、高浜町の2.21人であり、次いで敦賀市2.23人、小浜市2.30人となっている。

表8 市町別世帯数

	世帯数	増減数	増減率
県計	295,510	868	0.29
福井市	106,698	667	0.63
敦賀市	27,949	△27	△0.10
小浜市	12,169	49	0.40
大野市	10,744	10	0.09
勝山市	7,460	4	0.05
鯖江市	24,598	92	0.38
あわら市	10,023	76	0.76
越前市	29,662	△356	△1.19
坂井市	31,978	347	1.10
永平寺町	7,481	74	1.00
池田町	919	△9	△0.97
南越前町	3,190	△35	△1.09
越前町	6,604	3	0.05
美浜町	3,668	△45	△1.21
高浜町	4,439	15	0.34
おおい町	3,150	1	0.03
若狭町	4,778	2	0.04

図19 市町別1世帯当たり人員



利 用 者 の た め に

I 調査の目的等

この調査は、福井県における人口移動および世帯の実態を明らかにすることを目的とし、国勢調査の結果を基に令和4年10月から令和5年9月までの動きについて令和5年10月1日現在でまとめたものである。

II 用語の解説

1 出生数、死亡数、転入者数、転出者数

日本人、外国人ともに市町からの「人口統計調査報告」で把握した、各月ごとの住民基本台帳の変更数である。

2 自然増減………「期間中の出生数」－「期間中の死亡数」

3 社会増減………「期間中の県外からの転入者数」－「期間中の県外への転出者数」

ただし、市町の場合、「期間中の市町外転入者数」－「期間中の市町外転出者数」を用いる。

$$4 \text{ 人口増減率} = \frac{\text{人 口 増 減 数}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$5 \text{ 自然増減率} = \frac{\text{自 然 増 減 数}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$6 \text{ 出 生 率} = \frac{\text{出 生 数}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$7 \text{ 死 亡 率} = \frac{\text{死 亡 数}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$8 \text{ 社会増減率} = \frac{\text{社 会 増 減 数}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$9 \text{ 転入率} = \frac{\text{県内と県外の転入計}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

(市町別指標)

$$10 \text{ 転出率} = \frac{\text{県内と県外の転出計}}{\text{令和4年10月1日現在人口}} \times 100$$

(市町別指標)

$$11 \text{ 老年化指数} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{0~14歳人口}} \times 100$$

注意

- 1 本文および図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。本文および図表中の値は、表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- 2 市町では、住民基本台帳に基づく人口を人口として公表している場合が多く、国勢調査を基本にその後の増減で集計している県の推計人口とは異なっている。
- 3 県が公表している推計人口の出生、死亡数は、毎月1日から月末までの市町への届出日を基に、10月1日を基準日として1年間の動きを調査しているが、厚生労働省の「人口動態調査」は、各年の1月1日から12月31日までに出生、死亡した実数である。



福井県の推計人口

—令和5年10月1日現在—

令和6年（2024年）2月発行

編集・発行 福井県
未来創造部統計調査課
人口統計グループ

〒910-8580

福井市大手3丁目17番1号

電話 0776-20-0273（直通）

0776-21-1111（代表）

内線 2378

福井県統計調査課ホームページ

福井県の推計人口

検索